



【造船所見学・船の進水式探究】



《目的》

タンカー等を建造する様子や、船台での進水式などを目の当たりにして、そのスケールの大きさを実感させるとともに、建造された船舶がグローバルな社会において大きな役割を果たしていることを理解させる。

《実施内容》

船台での進水式の見学

《取組》

- 日 時 平成28年6月17日(金) 8:00～
- 場 所 浅川造船株式会社 本社工場
- 対 象 機械造船科1年生 40名
- 内 容 ・ケミカルタンカーの構造の説明
・進水式式典の見学
・写真撮影



《生徒の感想・学んだこと》

- ・船のスケールの大きさや、進水の迫力のすごさに感動しました。
- ・進水した船を見て、男のロマンを感じました。
- ・自分が今まで見た光景の中で、一番興奮しました。加速して海に入る姿は特に感動しました。また見学したいです。
- ・自分も船づくりに関わりたいと思いました。トリガーが外れた瞬間は、一生忘れないと思います。
- ・自分もこのような立派な船が作れるようしっかり勉強し、頑張りたいです。

《企業の方のコメント》(愛媛新聞掲載)

- ・造船を志す人は減っているが、人の手がなければ船は造れない。造船の魅力をもっと知ってもらいたい。
- ・生まれ育った場所で活躍できる仕組みづくりこそ地方創生。人手不足も問われて久しいが、地域が協力して次の世代を育てていかななくては。

《成果・今後の課題》

- ・生徒一人一人にとって意義深い経験となった様子であり、生徒が仕事に夢を持つことができたのではないかと考えています。
- ・海事産業に興味を持つことが、学習意欲の向上につながると考えており、今回経験した生徒の感動を、今後の取組につなげていきたいと思っています。

